

ほっかいどうの社会保障

2011年6月18日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648

FAX:758-4666

「年金減った。今でも大変なのに」

—全道35カ所で、高齢者医療、年金などの改善を求め宣伝行動—

「高齢者医療制度を改善せよ」「介護保険制度は改悪するな」
「消費税増税せず、最低保障年金を」

6月15日、年金者組合をはじめ、後期高齢者医療制度に怒る道民の会、地域社協は、年金支給日に合わせた街頭宣伝行動を全道で24市町村、35カ所で行いました。

今回は年金額が引き下げられてはじめての支給日で、銀行前の宣伝行動では、口座から年金を引き出したある男性は、「何で減らされたのか、今でも大変なのに。この怒りをどこにぶつけたらよいのか」と憤りを隠しません。民主党政権は、「社会保障と税の一体改革」で、さらに、年金支給開始年齢を68歳から70歳に伸ばすことも検討しています。各地で、その危険な内容を告発し、人権として社会保障の拡充こそ必要と訴えました。

札幌中央区の池内デパート前では、後期高齢者医療制度に怒る会、北海道社協、年金者組合など60人が参加して宣伝と署名を行いました。



釧路市での行動の様子

消費税大増税やめろ！ 社会保障大改悪ではなく拡充を！

—政府、厚生労働者や民主党へ集中しましょう！—

民主党政権は、今月20日にも、「社会保障と税の一体改革」案を決定する予定ですが、「社会保障」を自己責任と助け合いを基本とし、国の責任を放棄する内容に変質させ、消費税を20%へ増税することをはじめ国民の新たな負担と給付の削減を考えています。民主党の内部からも反対の声があります。

政府や厚生労働省、地元の民主党や議員へ、「改悪はやめて、充実を」の声を集中し、大改悪はやめさせましょう。

記念講演「3.11後の情勢と新たな社会保障を展望する運動」

今年の社保学校は9月11日、二宮厚美さんが講演



6月15日行われた北海道社会保障学校 in 札幌実行委員会では、今回の学校のテーマや記念講演や分科会の内容などを話し合いました。

記念講演は、神戸大学教授の二宮厚美さんから、3.11大震災後の社会保障をはじめとした情勢とあたらしい社会保障の展望についてお話ししてもらうことになりました。9月時点では、民主党や自民党の大連合、準連合なども予想される中、私たちの運動も考える内容です。

また、分科会は、【介護】【反貧困】【相談員養成講座】【社会保障入門】

を企画しています。(詳細は後日お知らせします)

是非、お誘いの上、たくさんご参加ください。主な内容は下記の通りです。

| | | |
|-----|------------------------------|--------------------|
| 日時 | 2011年9月11日(日) | 9時45分~15時45分 |
| 場所 | 札幌市「かでの2.7」 | ホール(全体会)及び会議室(分科会) |
| テーマ | 「大震災からの復興と権利としての社会保障の確立めざして」 | |
| 参加費 | 1500円 | |